



自然と歴史と人が輝く
未来都市 かんざき

神埼

題字 徳川 栞菜さん

1

2018 January

Vol.142

下直鳥ふれあいもちつき(P3に関連記事)



特集 迎春 あけましておめでとうございます

スマホで市報



市報かんだきもくじ 1月

CONTENTS

新年のごあいさつ	4	行政トピックス／フランスの風	18
市長の部屋／夜の市長室	8	図書館からのお知らせ	19
12月定例議会が開かれました／所得税確定申告・市県民税申告	9	土曜夜のミュージックタイム／つまみ食い講座	20
学校・放課後児童クラブ等の囑託・臨時職員募集	10	進めよう！男女共同参画	21
消費生活相談窓口	11	子育て支援センターだより／おむすびチムからのお知らせ	22
住民総合健診・毎日健診のお知らせ	12	こどもカレンダー／日曜祝日在宅当番医／献血のお願い	23
特定健診のお知らせ／介護保険料の納付確認書送付／健康コラム	13	物産館情報／いきいき大学／はんぎーホル行事予定	24
子ども医療費受給資格証／二十歳になったら国民年金加入の手続き	14	相談	25
合併浄化槽設置補助金の申請／農業者年金のご案内	15	情報板	26
全国学校給食甲子園で「特別賞」受賞	16	まちの話題	28
冬の木工教室／神埼塾講座／市民公開講座	17	インタビュー「この人」	30
／神埼まちあるぎ／神崎市青少年主張大会	17	吉野ヶ里公園から／文芸コーナー	31
／門前広場オープニングセレモニー	17	あつまれ！かんだきつ子	32



表紙「神埼」題字作者



脊振中学校 3年生
徳川 栞菜 さん

神埼

作者コメント

中体連が終わり、夏から再開した習字の練習でした。自分の納得のいく作品がなかなかできあがらず苦戦しましたが、やっとの思いでかいた作品はとても達成感が得られる一枚でした。

この題字を書いたことで、習字の難しさと楽しさが実感できてよかったです。

神崎市 各課直通 電話番号

【本庁】(代表☎52-1111)
(神崎町神崎 410 番地)

企画課	☎37-0102
庁舎整備課	☎37-0011
政策推進室	☎37-0153
総務課	☎37-0100
〃	☎37-0088
防災危機管理課	☎37-0104
財政課	☎37-0101
税務課	☎37-0114
市民課	☎37-0115
〃	☎37-0116
健康増進課	☎51-1234
生活環境推進室	☎37-0112
福祉課	☎37-0110
高齢障がい課	☎37-0111
農政水産課	☎37-0117
商工観光課	☎37-0107
建設課	☎37-0103
ダム対策課	☎37-0103
下水道課	☎37-0105
会計課	☎37-0113
監査事務局	☎37-0109
農業委員会	☎37-0108
選挙管理委員会	☎37-0100

【千代田支所】
(千代田町直鳥 166 番地 1)

総合窓口課	
総合窓口班	☎44-3071
総務係	☎44-2111
企画課	
情報管理係	☎44-2112
議会事務局	☎44-2082
学校教育総務課	☎44-2296
学校教育課	☎44-2384
市史編纂室	☎44-2731
社会教育課	☎44-2731
農政水産課分室	☎44-2198

【脊振支所】
(脊振町広滝 558 番地 2)

総合窓口課	(代表)
ダム対策課分室	☎59-2111
林業課	

【各種施設】

中央公民館	☎53-2325
神崎市立図書館	☎53-2304
はんぎーホール	☎44-2051
千代田町保健センター	☎44-2021
脊振公民館	☎59-2131
神崎市学校給食 共同調理場	☎51-4008
脊振診療所	☎59-2321

今月の行事

1月4日(木)	神崎市年詞交歓会
7日(日)	神崎市消防団出初式・神崎市成人式
20日(土)	神崎市青少年主張大会
28日(日)	吉野ヶ里ロードレースin神崎市

●今月の納期

市県民税(4期) 国民健康保険税(8期)

●市役所開庁時間

平日 8:30 ~ 17:15

年末年始閉庁 12月29日(金) ~ 1月3日(水)

※毎週火曜日は、市民課窓口は19時まで受付。(本庁のみ)

●市の広報番組

・「よかね神崎」ぶんぶんテレビの15分番組

毎月第3・4週

8:30 ~、12:30 ~、21:30 ~

※番組編成により放送時間が変更になる場合があります。

・「MY DEAR 神崎」FM佐賀 毎週水曜日 12:00 ~

市のうごき (平成29年11月末日現在)

- 人 □ 31,889人 (対前月-41人)
(男/ 15,314人 女/ 16,575人)
- 世帯数 11,722世帯 (対前月-6世帯)

今月の表紙

「下直鳥ふれあいまちづくり」

千代田町下直鳥地区で、年末恒例「下直鳥ふれあいまちづくり大会」が12月10日、地区のコミュニティセンターで行われました。

石臼に蒸し上がったもち米が投入されると男性や子どもたちが、杵を高々と持ち上げ「いち、につ、さん」とかけ声をかけながら、約20kgをつきあげました。もちは、女性たちが慣れた手つきで丸め、あんなこやきな粉もちにして振る舞いました。子どもたちは、真冬の寒さを忘れて、できたてのもちを美味しそうにほおばっていました。

この行事は、子どもとの絆を深めようと「下直鳥子ども守り隊」の女性13人が中心となって始め、6回目。約100人が集まり、多世代間の交流の場となりました。